

(社)精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会 2007 年度次総会第 15 回例会議事録

日時 2007 年 3 月 2 日 13:30-17:00

場所 東京大学先端科学技術研究センター 13 号館 3F 講堂

●出席者（敬称略）

○企業会員

久保田一穂、(株)キャム、月野 誠、(株)くいんと、吉川正晃、(株)ケイ・ジーティー、高橋将幸、(株)構造計画研究所、安藤知明、(株)先端力学シミュレーション研究所、荏原宏光、ソニーグローバルソリューションズ(株)、水野道全、中部日本工業(株)、大野裕生、東京貿易テクノシステム(株)、石樽治寿、林 啓太、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、三和田靖彦、石井博行、トヨタ自動車(株)、滝 克彦、高塩 創、日本ビジュアルサイエンス(株)、中邨博之、日本ユニシス・ソリューション(株)、定岡紀行、(株)日立製作所、神村直毅、原田龍太郎、(株)本田技術研究所、丸岡浩幸、マテリアライズジャパン(株)、赤羽孝彦、檜村 剛、丸紅ソリューション(株)、鈴木誠也、ヤマハ発動機(株) (17 社 (全 23 社中))

○個人会員

小宅 勝、群馬産業技術センター、寺岡啓、古川慈之、産業技術総合研究所、青木義満、金子 奨、芝浦工業大学、金井崇、鈴木宏正、松崎幸一、道川隆士、東京大学、小林 一也、富山県立大学、伊達宏昭、北海道大学、牧野内昭武、理化学研究所、坂下勝則、和歌山県工業技術センター (12 名 (全 25 名中))

○オブザーバー参加

宿利浩章、カールツァイス IMT(株)、速水信弘、ヤマト科学(株)、ハイサム・シャンマー、東京大学（鈴木研留学生）

●配布資料

○資料 1 議題

○資料 2 第 2 年次活動報告書

○資料 3 委員名簿

○資料 4 2007 年度収支予算書

○資料 5 ドイツ GOM 社における DV/VDE ガイドラインへの取り組み及び国内での非接触測定機 評価法の動向

○資料 6 産業用 X 線 CT の輪郭精度追求に関する取り組み (PPT 資料)

○資料 7 産業用 X 線 CT の輪郭精度追求に関する取り組み (論文)

○資料 8 輪講資料 Volumetric Image Analysis (序・1 章・2 章)

○資料 9 技術戦略マップについて

●2007 年度総会

議題 1 2006 年度活動報告

資料 2 により第 2 年次の活動が報告され了承された。

議題 2 2006 年度決算・会計監査報告

資料 2 の中にある収支決算報告書により第 2 年次の決算が報告され、また会計監査について、定岡監事により会計が適性である旨の報告が行われ承認された。

議題 3 2007 年度活動計画

1. 幹事追加の件

滝克彦氏（日本ビジュアルサイエンス）を幹事として追加することが承認された。

2. 新委員入会の件

下記 2 社、1 名の入会があったことが報告された。

- 株キャム
- 株構造計画研究所
- 京都大学 川端祐司

3. 活動計画の件

資料 1 により今年度の活動計画案が提案され承認された。例会は 6 回行い、委員による話題提供やセミナー、また、輪講は G. Lohmann, Volumetric Image Analysis を行う。さらに、今年度は技術ロードマップ作成に関しても検討を行うこととした。また、例会の時間帯を 13:30-14:30 に輪講を行い、14:45-18:00 に話題提供やセミナーを行うこととした。企画としては、一般向けセミナーなどを考えることとした。

議題 4 2007 年度予算の件

上記の活動計画に基づき、資料 4 で予算案が提案され承認された。

(以上)

●第 15 回例会

議題 1 前回例会議事録確認

資料 1 に含まれた第 14 回の議事録が昇任された。

議事 2 話題提供

下記 2 件の話題提供があり、質疑応答が行われた。

- 産業用 X 線 CT の輪郭精度追求に関する取り組み 3 次元形状簡略化技術のご紹介
金子奨（芝浦工業大学・青木研究室） 資料 6, 7
- ドイツ GOM 社における DV/VDE ガイドラインへの取り組み及び国内での非接触測定機評価法の動向
赤羽孝彦（丸紅ソリューション株） 資料 5

議事 3 技術戦略マップ

経済産業省のもと、学協会で様々な技術戦略マップの策定が行われており、平成 18 年度から本現物融合分野を含む製造技術分野でもマップ作成作業が開始されたことが資料 9 で報告された。技術マップの例としてロボット分野のものが回覧された。今後、現物融合に関して、本専門委員会でも検討を行っていくこととした。

議事 4 輪講 Volumetric Image Analysis (第 1 回)

東京大学の道川により、資料 8 により、上記のテキストの第 1 章と第 2 章の半ばまで解説が行われた。

議題 5 その他

2007 年度の例会のスケジュールの提案があり、変更の必要な場合は事務局に連絡することとした。

この後、懇親会が開催された。

(以上)